



往生とは

「浄土に往生したいです
か」と聞かれて、素直に「はい」と答えられる人は、どれくらいいるでしょうか。

往生とは、浄土に生まれることです。しかし、死後の世界は私たちには分かりません。分からないものへの不安もあります。だから浄土と聞いても、なかなか「往きたいところ」にはならないのでしょうか。

けれども私たちは、日々の暮らしの中で、「このままでもいいのだろうか」と感じるがあります。

ところが、そんなときにも私たちは、「あの人が変われば」「世の中が変われば」と、いけないことの原因を自分以外のところに見

つけようとしています。

けれども、私が批判している「あの人」と私は、本当にまったく違う人間なのでしょうか。

人を傷つける心も、自分を守るために誰かを排除する心も、自分だけは正しいと思う心も、私の中にもあります。置かれた状況が違えば、私も同じことをする身かもしれません。

変わらなければならぬ社会の、その原因は私の中にもあるのです。

「あの人が変わらなければ」「ではなく、「私が変わらなければ」。

「私が変わる」。そこに成仏の始まりがあり、浄土往生も私自身の問題になってくるのではないのでしょうか。



今月のことば

往生とは

このままでいいのか？と

思いつことから始まる

往生とは、死んでから突然始まる話ではありません。

「変わらなければならぬのは、私ではないか」

そう問われるところから、私の浄土往生は始まるのだと思います。

親鸞聖人のご恩に、今、遇う

ほう おん こう

報恩講

— いのちに遇う、念仏に生きる —

日 時 2026年(令和8年)
10月31日(土) 午後1時30分～4時
11月1日(日) 午前の座 9時30分～12時
まとめの座 1時30分～4時

講 師 松井 勇 氏(南砺市)

お勤め 正信偈とお念仏を勤めます
※どなたでもお参りいただけます。

念仏の声を
念仏のみ教えを
一緒に聞きましょう

初めての方も
どうぞ
お参りください

ともに聞き
ともに歩む

ご しょう き ほう しょう

御正忌法要

11月22日(日)

午前10時より
午後4時まで

※午後2時より東老田尼講の
読経法要が勤まります。
法話は佐藤がいたします。

お一人でも静かに、あるいはご家族の皆さままで、どうぞお参りください。

お道具磨き

10月18日(日) 午前9時～11時

報恩講をお迎えするにあたって仏具を皆さんと一緒に磨きます。尼講の方々を中心として行いますが尼講員でない方もご参加ください。特に男性の方大歓迎です。どうぞご協力よろしくお願いします。

よろしければ磨き用のタオルを1枚ご持参ください。

椅子を貸し出します

常入寺には参詣用にお座敷用のいすが40脚以上あります。ご法事の時などに椅子を貸し出しをさせていただいています。(但し、お寺の行事がない時にかぎりません) 住職にご相談ください。ぜひご利用ください。また皿、コップ、大鍋、などもお貸しできます。

貸出は無料です。

【お知らせ】

お寺の横にある駐車場に銀杏の木があります。10月になると実が徐々に実りだし落ちていきます。そこで皆様にお裾分け、自宅で食べられる分に限り銀杏をご自由に拾ってってください。(お寺に声をかける必要ありません)

< 御願い >

報恩講と御正忌法要を当寺で勤めさせていただきますので、

10月30日～11月1日、11月22日は皆様のお宅への**月参りは休止し**、報恩講、御正忌法要のお勤めと併せて本堂にてお勤めさせていただきます。是非とも報恩講、御正忌法要にお参りください。ご理解いただきますよう御願いたします。

またどうしてもと言われる方は前もってお寺まで電話ください。日時の変更など対応させていただきます。



発行 真宗大谷派 常入寺
電話 930-0161 富山市東老田787
住職携帯 (076) 436-0816
発行責任 青井 和成
090-3764-3983

LINEはこちらから↓

お参りの変更

法事の相談

その他

いづれかだけでも大丈夫です



【あとがき】
今年も報恩講をお勤めする季節となりました。「報恩講」と聞くと、昔からお参りしている方のための行事と思われるかもしれませんが、でも、初めての方も、一座だけのお参りでも大歓迎です。お念仏の声を聞きながら、親鸞聖人のみ教えに出遇う時間をご一緒にできればと思っています。どうぞ「ちよつと行つてみようか」という気持ちでお参りください。お待ちしております。